

## 伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）について

### 1 背景

三重の地は、「平和への祈り」、「多様性への寛容や交流」、「自然と人との共生」、「伝統文化の継承」といった精神性、価値、可能性を有しており、伝統を守りながらも革新を積み重ねることで進化してきました。

このようなポテンシャルのもと、伊勢志摩サミットに向けて、オール三重で一丸となって受入準備をした結果、行動力が培われ、また、サミット自体については、各国首脳等の神宮訪問をスタートに開催され、多くの成果が生まれるとともに、オバマ大統領の広島訪問という歴史的な瞬間も実現しました。

サミットの成功により、三重の地が持つ様々な力を、私たちは改めて認識することとなりました。

### 2 目的

元来、三重の地が受け継いできたものを抱きながら、サミットを一過性のものとせず次世代に引き継ぎ、誰もが幸せを実感できる三重を実現することを目指し、県民の皆様が将来にわたって積極的に行動し、活躍していただくための「宣言」を、県民の皆様と一緒に考えて、つくっていきたいと考えています。

### 3 宣言骨子案の概要

三重の地が持つポテンシャル、そしてサミット開催の成果、レガシーを、私たちが認識する中で、三重県人として、日本人として、これまで私たちが大切にしてきた、そしてこれからも大切にしていける『和』の心が存在し、これが、これからの三重づくりに向けて、私たちの決意や行動の源（みなもと）としていくべきものであると考えました。

この『和』の心を源とした、「親和」「調和」「和の文化」「平和」の4つの決意と、それぞれの決意に対応した具体的な行動をしていくことを県民の皆様と共に宣言したいと考えています。

懇話会においては、宣言の骨子案へのご意見をいただくとともに、ご参加の皆様が、自らであればどういった行動をしていくのか、という点についてのご意見等を述べていただきたいと考えています（懇話会については別紙1、骨子案については別紙3、サミットの成果やレガシーについては別紙4をご覧ください。）。